

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月12日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 桜井交通(株)	運行系統名 ・愛本本線 運行区間 ・愛本新下区公民館～イラッセ ・通勤ターによる定時定路線運行 ・平日のみ運行	・路線沿線の地域住民と持続可能な運行に向けて協議を行いながら、運行ダイヤの改正や利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売)を実施した。 ・愛本連絡線の予約制化に伴う地元住民による利用促進の取組を実施した。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和2年度目標値: 180,000人 令和2年度実績値: 151,971人 (参考) 当該系統利用者数 平成31年度:2,689人 令和2年度:2,797人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和2年度目標値:99.9% 令和2年度実績値:99.9%	・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、当該系統の利用者数は地元住民による利用促進の取組が奏功し増加していることから、引き続き、新規利用者の開拓・利用頻度の増大に向けて、利用者ニーズの把握に努めたい。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月12日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
事業者名 桜井交通(株)	<p>運行系統名 ・石田三日市線</p> <p>運行区間 ・にいかわ総合支援学校～黒部市役所 ・黒部市役所～黒部市役所</p> <p>・通勤ターによる定時定路線型運行 ・平日のみ運行</p>	<p>・路線沿線の地域住民と持続可能な運行に向けて協議を行いながら、運行ダイヤの改正や利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売)を実施した。</p>	<p>A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。</p>	<p>(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数</p> <p>令和2年度目標値: 180,000人 令和2年度実績値: 151,971人</p> <p>(参考) 当該系統利用者数 平成31年度:8,317人 令和2年度:6,588人</p> <p>(2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消)</p> <p>令和2年度目標値:99.9% 令和2年度実績値:99.9%</p>	<p>・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数も前年に比べ市全体とほぼ同等の減少率となっていることから、バス路線網の再編(見直し)を行っていく中で、地域住民との協議や利用促進策をより一層強化し、路線の最適化や運行手法の変更も含めた検討を進め、地域とともに持続可能な運行形態の確立を目指す。</p> <p>・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施する。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月12日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くらべ交通(株)	運行系統名 ・田家野ー中山エリア 運行区間 ・田家地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・月・水・金に運行	・路線沿線の地域住民と持続可能な運行に向けて協議を行いながら、利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売、出前講座の開催)を実施した。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和2年度目標値: 180,000人 令和2年度実績値: 151,971人 (参考) 当該系統利用者数 平成31年度:546人 令和2年度:373人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和2年度目標値:99.9% 令和2年度実績値:99.9%	・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができず、当該系統の利用者数は前年に比べ市全体よりも減少率が顕著となっていることから、バス路線網の再編(見直し)を行っていく中で、地域住民との協議や利用促進策をより一層強化し、路線の最適化を含めた検討を進め、地域とともに持続可能な運行形態の確立を目指す。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月12日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くらべ交通(株)	運行系統名 前沢－宮野エリア 運行区間 ・前沢地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・月・水・金に運行	・路線沿線の地域住民と持続可能な運行に向けて協議を行いながら、利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売、出前講座の開催)を実施した。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和2年度目標値: 180,000人 令和2年度実績値: 151,971人 (参考) 当該系統利用者数 平成31年度:716人 令和2年度:799人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和2年度目標値:99.9% 令和2年度実績値:99.9%	・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、当該系統の利用者数は地元住民による利用促進の取組が奏功し増加していることから、引き続き、新規利用者の開拓・利用頻度の増大に向けて、利用者ニーズの把握に努めたい。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月12日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くらべ交通(株)	運行系統名 ・村椿・大布施地区 運行区間 ・村椿・大布施地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・火・木・土に運行	・路線沿線の地域住民と持続可能な運行に向けて協議を行いながら、利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売、出前講座の開催)を実施した。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	(1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和2年度目標値: 180,000人 令和2年度実績値: 151,971人 (参考) 当該系統利用者数 平成31年度:1,028人 令和2年度: 969人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和2年度目標値:99.9% 令和2年度実績値:99.9%	・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、当該系統の利用者数はほぼ前年の水準を確保している(微減)ことから、バス路線網の再編(見直し)を行っていく中で、地域住民との協議や利用促進策をより一層強化し、路線の最適化を含めた検討を進め、地域とともに持続可能な運行形態の確立を目指す。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施する。

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和3年1月12日

協議会名:黒部市公共交通戦略推進協議会

評価対象事業名:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名 くらべ交通(株)	運行系統名 ・荻生地区 運行区間 ・荻生地区～三日市地区 ・予約型デマンドタクシーとして運行 ・火・木・土に運行	・路線沿線の地域住民と持続可能な運行に向けて協議を行いながら、利用促進策(時刻表・ニュースレターの配布、回数券の販売、出前講座の開催)を実施した。	A 計画に位置付けられた事業は適切に実施された。	B (1)市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数 令和2年度目標値: 180,000人 令和2年度実績値: 151,971人 (参考) 当該系統利用者数 平成31年度:474人 令和2年度:462人 (2)公共交通利用圏域内町内会人口率(交通空白地域の解消) 令和2年度目標値:99.9% 令和2年度実績値:99.9%	・コロナ禍の中で市内路線バス・コミュニティ交通の利用者数は目標を達成することができなかったが、当該系統の利用者数はほぼ前年の水準を確保している(微減)ことから、バス路線網の再編(見直し)を行っていく中で、地域住民との協議や利用促進策をより一層強化し、路線の最適化を含めた検討を進め、地域とともに持続可能な運行形態の確立を目指す。 ・新型コロナウイルスの影響による利用者減少を改善するため、感染症防止対策を実施する。